

【基本情報】

クラブ名	ギラヴァンツ北九州		
活動テーマ	15周年記念グッズ考案		
実施場所	本社 会議室		
活動部署	HG 集客		
	15周年プロジェクト		
参加者	木實 快斗	世良 務	吉原 楓人
活動期間	2025年5月9日(金)～2025年9月12日(金)		

【活動報告詳細】

■活動目的

クラブは、今シーズンでJリーグ参入15周年という節目の年を迎え、さまざまなイベントや記念グッズの企画を行っています。
その一環として今回は、選手たちがタオルのデザインを考案し、実際の販売サポートにも携わる「クラブ運営サポート活動」を実施しました。
この取り組みでは、選手たちが普段接する機会の少ないスタッフの業務に触れ、クラブ運営の一端を体感することで、新たな視点や気づきを得る機会となりました。
また、スタッフとのコミュニケーションを深めることで、クラブ全体としての一体感を高めることを目的として

■活動内容

- ・クラブスタッフとの打ち合わせ
- ・グッズデザイン考案
- ・販売サポート

■選手コメント

(世良 務選手のコメント)

今回、Jリーグ参入15周年オリジナルタオルを考案するクラブ運営サポートを行いました。考えたデザインが商品となり実際に販売されることはとても嬉しく思います。クラブスタッフ(グッズ担当)の方々と打ち合わせを行った後、選手たちで、複数回集まりアイデアを出し合いました。何回も打ち合わせを行いながらイメージを合わせていき完成する事が出来ました。自分の考えを主張する事や、周りのイメージを合わせていく事は、サッカーでも大切なので、良い経験をする事が出来ました。この経験を活かして、選手としても成長していけるように頑張っていきたいと思います。

(木實 快斗選手コメント)

今回、新人研修で15周年のタオルを考案するクラブ運営サポートを行いました。
この活動を通して、モノづくりの大変さと楽しさを学び貴重な経験をする事が出来ました。
デザインやマークの配置などを決めるのに時間がかかり、意見をまとめる事の難しさを感じました。
また、意見を出し合いながら、形になっていく過程はとても複雑で、普段からグッズを担当されているスタッフの方の大変さや努力を知る事が出来ました。スタッフの方々の支えでサッカーが出来ていますし、クラブが成り立っていると思うので、プレーを通して感謝の気持ちを伝えていきたいです。

(吉原 楓人選手コメント)

Jリーグ参入15周年プロジェクトの一環として、グッズの考案に関わらせていただきました。今回のグッズ制作で、デザインなどを一から決める難しさを実感しました。企画から販売までの流れを体験して、多くの人の支えでクラブは成り立っていると気づく事が出来ました。プロとしての自覚を持ち、ピッチ外でもクラブに貢献していきたいと思います。

■活動写真



【基本情報】

クラブ名	ギラヴァンツ北九州		
活動テーマ	まちづくり、地域活性化		
実施場所	香春口三萩野駅		
協働団体	ギラヴァンツ北九州	小倉商業高校	北九州モノレール
参加者	吉原楓人	木實快人	
活動期間	2025 年 10 月 23 日(木)		

【活動報告詳細】

■活動目的

クラブはJリーグ参入15周年事業の一環として、小倉商業高校と連携し、様々な取り組みを行っています。北九州市では人口減少や高齢化が進み、地域の賑わい創出が求められています。一方で、モノレール駅は多くの方が利用する場で地域を繋ぐ役割を持ちながらも、現状は日常的な利用に限られ、若者の利用や交流の拠点として十分に活用されていません。このような背景から、高校の最寄り駅である香春口三萩野駅を拠点に、グッズ販売やおみくじ・絵馬を活用した企画など様々な取り組みを実施しました。学生と選手が協力して魅力を発信し、地域の活性化へと繋げていく事を目的にしています。

■活動内容

グッズ販売、おみくじ運営、絵馬
設営準備、片付け

■選手コメント

(吉原楓人選手コメント)

今回、新人研修の一環として香春口三萩野駅で、小倉商業高校の学生達と北九州高速鉄道株式会社様とシャレン活動を行いました。クラブ運営活動で制作したオリジナルタオルの販売など様々な取り組みを行い、多くのサポーターの方々にもご来場いただきました。今回のシャレン活動を行うために、多くの方に協力していただき、地域連携の大切さを感じ、社会人として成長していくための貴重な経験になりました。

(木實快人選手コメント)

今回、新人研修の一環としてモノレール香春口三萩野駅でシャレン活動を行いました。地域の方々と直接交流する中で、たくさんの学びと刺激を受ける事が出来ました。クラブ運営活動で制作したオリジナルタオルの販売、おみくじや絵馬、勝ち神社を活用した企画などを通して、クラブ・北九州高速鉄道株式会社様、学生が協力しあい、地域に新しい価値を生み出す取り組みの大切さを感じました。地域の方々の温かさや、クラブへの期待を肌で感じ、これからは自分自身がクラブの魅力を積極的に発信し、サッカーを通して地域を盛り上げていけるように努力していきたいと思っています。

■活動写真



【基本情報】

クラブ名	ギラヴァンツ北九州		
活動テーマ	社会課題		
実施場所	ギラヴァンツ北九州本社		
協働団体	ギラヴァンツ北九州	ビートルマネージメント	マルソー産業
参加者	世良務		
活動期間	2025 年12月 11 日(木)		

【活動報告詳細】

■活動目的

北九州市内の企業と連携し、地域で発生したプラスチックごみを新たな製品として再生・活用することで、循環型社会の実現と環境意識の向上を目指すこと

■活動内容

北九州市内で排出されたプラスチックごみを回収する 株式会社ビートルマネージメント様、回収されたプラスチックを原料としてハンガーを製造・生産・納品する マルソー産業株式会社様、そして ギラヴァンツ北九州 の3社が連携し、再生プラスチック製ハンガーの製造・販売に取り組むプロジェクトの打ち合わせに世良選手 も参加し、地域の資源循環や環境への配慮について意見交換を行いました。

■選手コメント

世良務選手

クラブが北九州市内の企業と連携し、地域で発生したプラスチックごみを再生して、来シーズンのユニフォーム特典となるハンガーを制作する取り組みの打ち合わせに参加しました。今回の打ち合わせを通じて、ひとつの製品を形にするまでに多くの工程と、たくさんの方々の協力が必要であることを改めて実感しました。また、普段自分たちが排出しているプラスチックごみが再び新しい価値を持つ製品として生まれ変わる、この取り組みは本当に素晴らしいものだと感じました。さらに、完成した商品の名称を考えさせていただいたことで、より思い入れのあるプロジェクトとなりました。今回の経験を通して、日常で何気なく出しているごみについても、自分たちができることを考え、行動していきたいと思います。

■活動写真

